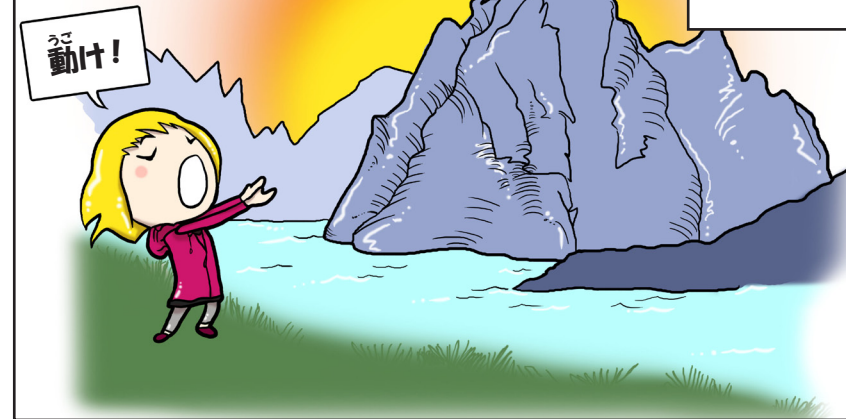


あい しょう びと て がみ だい いち だい しょう 愛についての章：コリント人への手紙第一 第13章

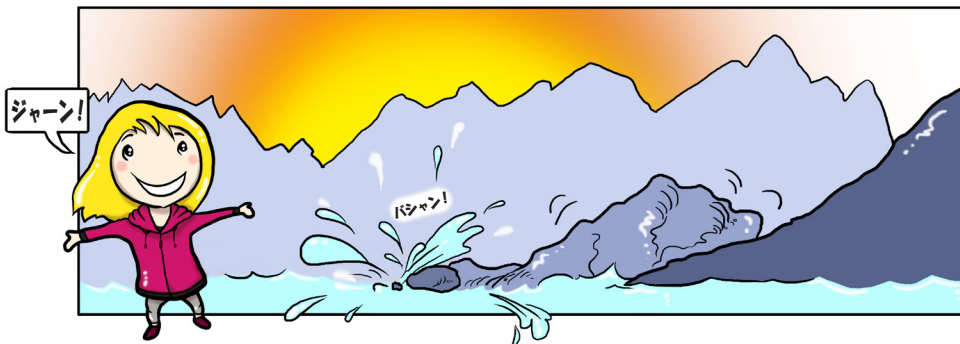
1. たとい、^{わたし} ^{ひと} ^{いげん} ^{つか} ^{いげん} ^{はな}
愛がないなら、やがましい ^{おな} どうか、うるさい シンバルと同じです。



2. また、たとい
^{わたし} ^{よげん} ^{たまもの}
私が 預言の 賜物を
も 持っており、また
あらゆる ^{おくぎ} 奥義と
あらゆる ^{ちしき} 知識とに 通じ、



また、^{やま} ^{うご} ^{がんぜん} ^{しんこう} ^も
山を 動かすほどの 完全な 信仰を 持っても、...

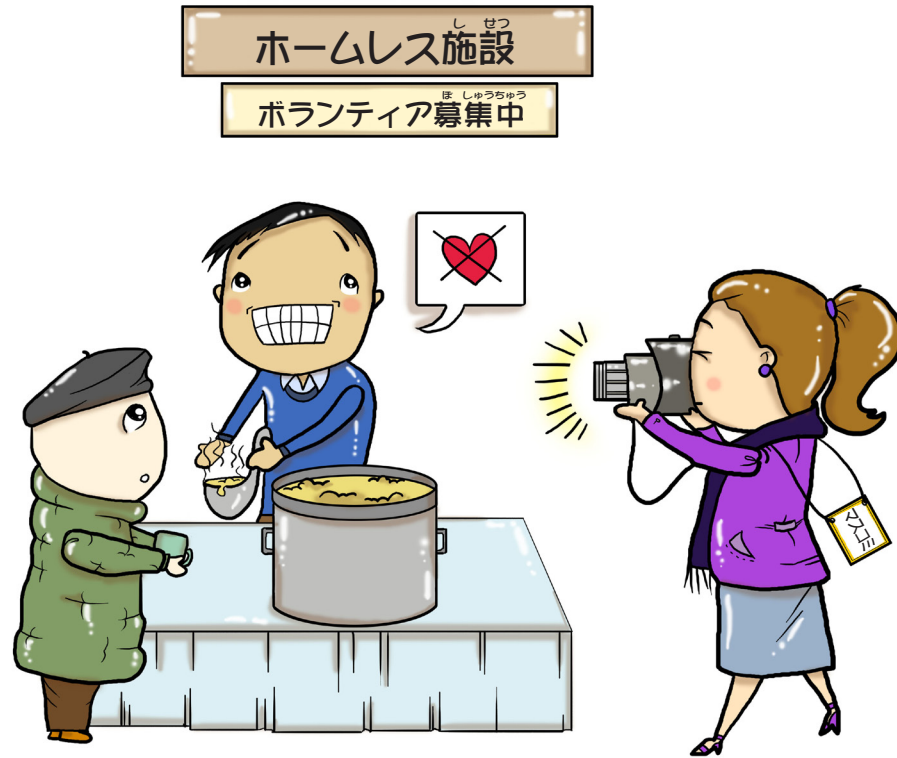


... ^{あい} ^{なん} ^ね
愛がないなら、
何の 値うちも ありません。

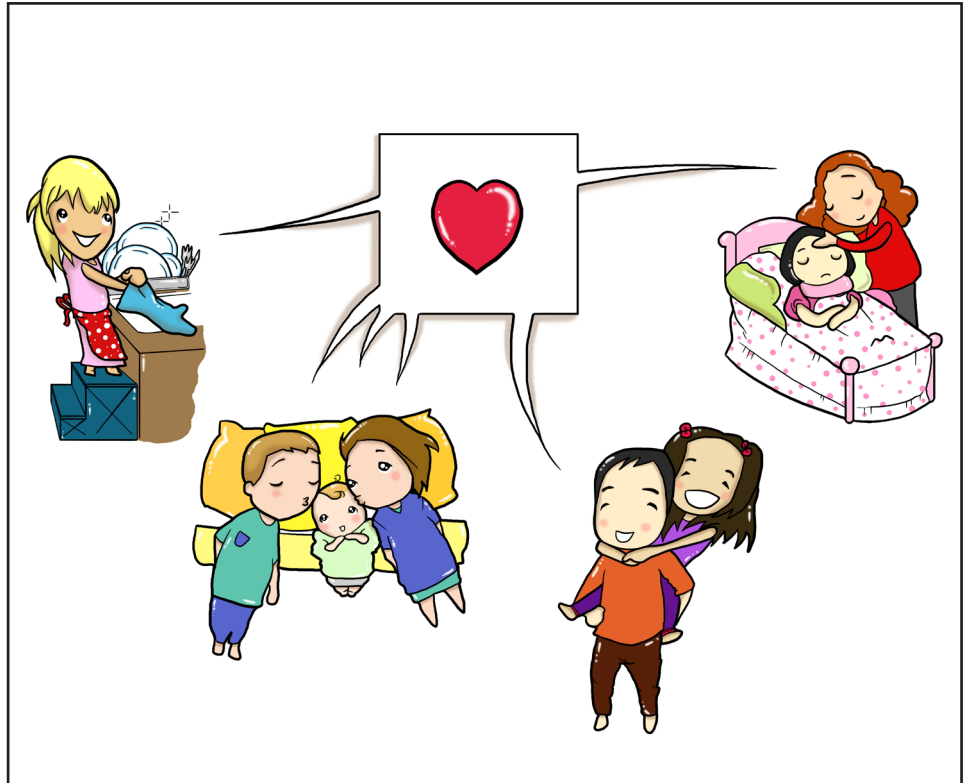


3. また、たとえ私が持っている物の全部を
まず貧しい人たちに分け与え、また私のからだを焼かれるために
渡しても、愛がなければ、何の役にも立ちません。

5. 礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、
おこらず、人のした悪を思わず、
6. 不正を喜ばずに真理を喜びます。



4. 愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。
愛は自まんせず、高まんになりません。

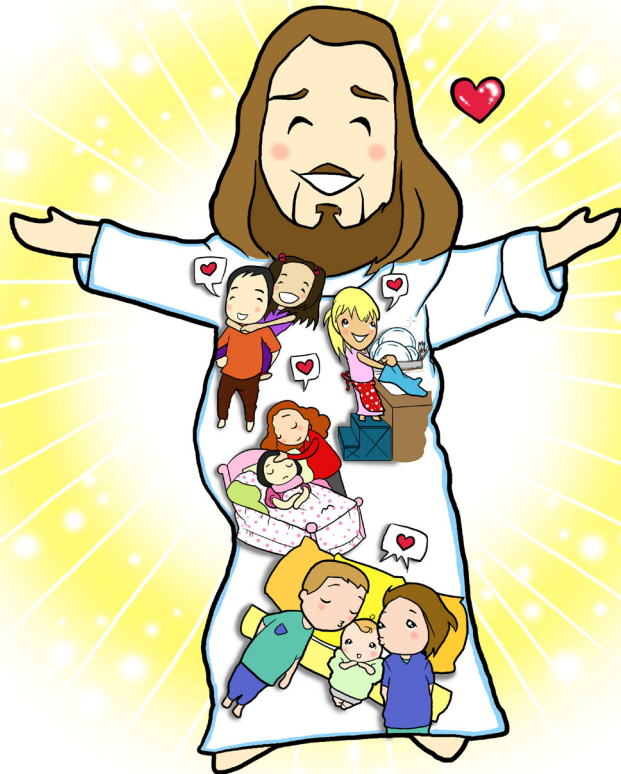


7. すべてをがまんし、すべてを信じ、
すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。

8. 愛は決して絶えることがありません。
預言の賜物ならばすたれます。異言ならばやみます。
知識ならばすたれます。

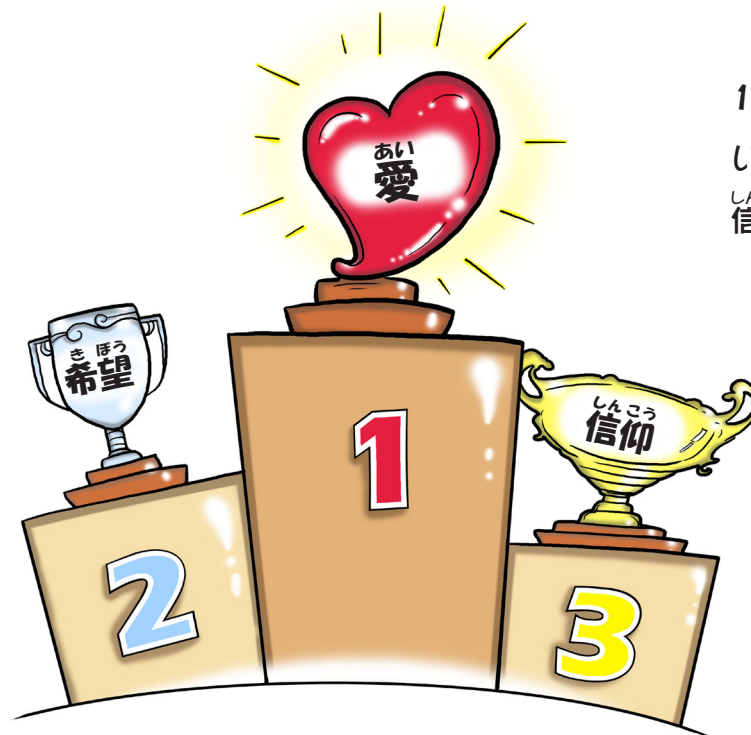
11. 私が子どもであったときには、子どもとして話し、
子どもとして考え、子どもとして論じましたが、おとなになったときには、
子どものことをやめました。

12. 今、私たちは鏡にぼんやり映るものを見っていますが、その時には
顔と顔を合わせて見ることになります。今、私は一部分しか知りませんが、
その時には、私が完全に知られているのと同じように、
私も完全に知るようになります。



9. というのは、私たちの知っているところは一部分であり、
預言することも一部分だからです。

10. 完全なものが現われたら、不完全なものはすたれます。



13. こういうわけで、
いつまでも残るものは
信仰と希望と愛です。
その中で一番
すぐれているのは
愛です。